

特集

周産期ハイリスクケア の構築

ローリスク妊産婦を対象とした助産外来・院内助産の必要性が高まる一方で、さまざまな要因によりハイリスクとなる母子も増えています。周産期をリスク持って過ごす妊産婦には、医療だけではなく心理的・社会的にも特有のケアを考えていく必要があります。特集では母子のハイリスク化の現状と、多様なハイリスクケアの実践報告をとおして、めざすべき方向について考えます。